

目次

はじめに.....	3
第一章 理論的前提.....	8
1.1. 構造主義的記号学から言説分析へ.....	8
1.1.1. ソシユールからバルトへ.....	8
1.1.2. モードの体系.....	9
1.2. フランス学派言説分析のはじまり.....	11
1.3. 言説の定義.....	14
1.4. メディアの言説：言語科学と伝達の科学のはざままで.....	16
1.5. 日本のメディア研究におけるフランス学派言説分析.....	18
1.5.1. カルチュラル・スタディーズのメディア研究.....	18
1.5.2. カルチュラル・スタディーズのオーディエンス研究と言説分析の世論研究.....	19
第二章 フランスの新聞における日本人ファッション・デザイナーの表象.....	22
2.1. ステレオタイプの定義.....	23
2.2. フランスのメディアに現れる日本のステレオタイプ（1980年以降）.....	25
2.3. 資料体.....	26
2.3.1. 選定基準：『ル・フィガロ』と『リベラシオン』.....	26
2.3.2. 1981年から1992年の間に出版された『ル・フィガロ』と『リベラシオン』 の総括的特徴.....	28
2.3.3. 当時の『ル・フィガロ』と『リベラシオン』のモデル読者.....	29
2.3.4. 二紙におけるパリ・プレタポルテ・コレクションに関する記事の特徴.....	31
2.3.5. 資料体の構成.....	34
2.3.6. 研究の順序.....	34
2.4. 暴力という日本嫌いのステレオタイプ.....	35

2.4.1	封建主義、軍国主義の日本を想起させる暴力.....	35
2.4.2	「原爆など日本が被った暴力」のステレオタイプ.....	40
2.4.3	「自己破壊としての暴力」のステレオタイプ.....	43
2.5	日本最良のステレオタイプ.....	50
2.5.1	革新のステレオタイプ.....	50
2.5.2	美のステレオタイプ.....	53
2.5.3	伝統のステレオタイプ.....	54
2.5.4	精神性のステレオタイプ.....	56
2.6	ステレオタイプの機能.....	57
2.6.1	ステレオタイプの論理的機能.....	59
2.6.2	ステレオタイプのパトスの機能.....	63
2.6.3	エートスの機能.....	73
第3章	日本の新聞における日本人ファッションデザイナーの表象.....	87
3.1	分析資料.....	87
3.1.1	『朝日新聞』『読売新聞』『毎日新聞』の一般的特徴.....	88
3.1.2	『朝日新聞』『読売新聞』『毎日新聞』におけるパリ・プレタポルテ・コレクション記事の掲載欄の特徴.....	90
3.1.3	パリ・プレタポルテ・コレクションの記事の語り手と言説の特徴.....	92
3.1.4	各新聞のモデル読者.....	105
3.1.5	言説を制限する条件.....	107
3.2	日本の新聞における表象の分析.....	108
3.2.1	読者の言語知識から解読可能な「前提」を読者に読み取らせようとする場合.....	110
3.2.2	典拠を示さず「だそうだ」など伝聞の形式を用いる場合.....	112
3.2.3	ステレオタイプを使用する場合.....	114

3.2.4. 日本とフランスで共有されるステレオタイプ	118
3.3. 引用されたステレオタイプの論証機能	122
3.3.1. 『毎日新聞』	122
3.3.2. 『朝日新聞』	126
3.3.3. 『読売新聞』	127
結論	130
補遺	134
1: 『ル・フィガロ』で掲載された日本人デザイナーによるパリ・プレタポルテ・コレクションの記事一覧 (1981-1992)	134
2: 『リベラシオン』に掲載された日本人デザイナーのパリ・プレタポルテ・コレクションの記事リスト (1981-1992)	139
3: 『朝日新聞』で掲載された日本人デザイナーによるパリ・プレタポルテ・コレクションの記事一覧 (1981-1992)	144
4: 『読売新聞』で掲載されたパリ・プレタポルテ・コレクションの記事一覧 (1981-1992)	146
5: 『毎日新聞』で掲載された日本人デザイナーによるパリ・プレタポルテ・コレクションの記事一覧 (1981-1992)	148
参考文献	151
目次	157